

事業所名 デイサービス楽雅堂

運 営 推 進 会 議 開 催 報 告 書

開催日時 平成 30 年 8 月 20 日(月) 14 時 00 分～15 時 00 分		
参 加 者		議 題
利用者	0 名	1. 挨拶
利用者家族	2 名	2. 参加者の紹介
地域住民の代表者	1 名	3. 活動状況の報告
市職員	1 名	1) 利用者の概要
地域包括支援センター職員	1 名	2) 利用状況
事業所	2 名	3) 実施した行事、利用者の様子
看護学生	3 名	4) ボランティア団体等との連携、協力状況
		5) 人員体制、人事異動
		6) 苦情、ヒヤリハット、事故発生状況
		7) 研修等への取り組み
		8) 情報公表への取り組み
		9) 非常災害時における消防団や地域住民との連携の為の 取り組み状況
		4. 今後の取り組みについて
		5. その他
		①瀬戸市と併設の住宅型有料老人ホーム楽雅堂が災害時に おける福祉避難所として利用に関する協定を締結
		②介護保険利用者負担割合について
		6. ご意見・ご感想
		7. 閉会の挨拶
会 議 録		
<p>1. 挨拶 管理者 松原和子</p> <p>2. 会議参加者 自己紹介</p> <p>3. 活動状況報告 (別紙資料添付)</p> <p>1) H30 年 2 月～平成 30 年 7 月までの実利用者数報告(別紙資料①)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者平均介護度報告(別紙資料②) ・年齢別要支援度・要介護度報告(別紙資料③) ・利用者平均年齢(別紙資料④) <p>2). デイサービス1日の流れ(別紙資料⑤)</p> <p>3) H30 年 4 月～平成 31 年 3 月 年間事業計画、事業実績報告(別紙資料⑥ ⑦ ⑨)</p> <p style="padding-left: 20px;">平成 30 年度 年間行事予定(別紙資料⑧)</p> <p>4) ボランティア団体との連携、協力状況報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お話しボランティア 奇数月の第 2 木曜日 <p style="padding-left: 20px;">H30 年 3/8、5/10、7/12</p>		

・合唱ボランティア（スマイル、スマイルミニ）

平成 30 年 5/26

5) 人員体制、人事異動報告（別紙資料⑩）

6) 苦情、ヒヤリハット、事故発生状況報告

・報告なし

7) 研修等への取り組みについて報告

・平成 30 年度デｲｰビス会議での研修予定（別紙資料⑪）

・平成 30 年 2 月～平成 30 年 8 月 研修実績（別紙資料⑫）

8) 情報公表への取り組み

・平成 30 年 2/5 平成 29 年度「介護サービス情報公表」制度に係わる訪問調査
調査機関 株式会社エバーサルリンク

9) 非常災害時における消防団や地域住民との連携のための取り組み状況報告

・地域との取り組み実績なし

・消防（設備）点検 2 回/年実施 H30 年 8/7 実施 次回 H31 年 2 月予定

・避難訓練 2 回/年実施 H30 年 3/17 次回 H31 年 9 月実施予定

4. 今後の取り組みについて報告

1) 「デｲｰビス 楽雅堂通信 Vo. 3」を平成 30 年 4 月に発刊し、高根町内会様に回覧板で掲載していただきました。

今後高根町回覧板に掲載していただきご理解いただければ有難いです。

5. その他

・瀬戸市と住宅型老人ホーム楽雅堂が災害時における福祉避難所としての利用に関する協定を結びました。今後ともよろしく願いいたします。

・平成 30 年 8 月から介護サービスをご利用の際にご負担いただく利用者負担割合が 1 割または 2 割でしたが、一定以上の所得がある場合は、新たに 3 割のご負担をいただくこととなりました。

6. ご意見・ご感想

デｲｰビス管理者：初詣や花見等々外出ツアーで出掛けるが、瀬戸市内や尾張旭市内でお出かけできる良い場所は知りませんか。あれば教えてほしい。

包括支援センター職員：瀬戸市内にチョコレート工場が出来る予定。今後見学が出来るかもしれないです。

市役所職員：喫茶店に行くデｲｰビスもあります。

デｲｰビス管理者：情報ありがとうございました。

利用者様家族：「デｲｰビスが天国」と、母が言う。化粧してデｲｰビスに行きます。

本人が楽しいと思う気持ちがあればいいのではないのでしょうか。

町内会長：福祉避難所として市と締結したとあるが、避難所としてどのように収容の人を振り分けするのか。ホームページに公開はするのか。どのような場合利用ができるのか。

市役所職員：各地域の避難所で過ごすことが困難な要配慮者に対し、福祉避難所を開設するために、協力いただける法人と協定を結んだ。直接福祉避難所に避難するわけではなく、各地域の避難所で移送の要否を判断し、利用することとなる。入所者に配慮した上の受け入れとなるため、受け入れ可非、受け入れ人

数等は災害の状況による。

利用者家族：現在母は入院中で「楽雅堂のご飯が一番美味しい」と、言う。

町内会長：ウェブサイト楽雅堂のホームページはないのか。

ネットワークの社会、情報の発信をして欲しい。

ウェブサイト管理者：現在、ウェブサイト楽雅堂のホームページはないので、今後の課題にしたい。

愛知県情報公表のホームページには事業所の体制等々については公表はあります。

包括支援センター職員：町内会の回覧板を利用して事業所の情報提供も良い事と思う。

ウェブサイトの年間行事は、他のウェブサイトだと年に2~3回くらいだが、楽雅堂は毎月行事があり、良い事と思います。

看護学生：ツイッターとかSNS、Instagramが見やすくして情報を普及するのに良いかもしれない。

利用者家族：個人情報の問題もあるかもしれないですね。

市役所職員：女性の利用者が多い。またスタッフも女性が多い。男性の利用者様が1名なので男性の方はどんな感じなのですか。

ウェブサイト職員：男性の方は手作業は難しいが折紙をちぎっている。

事業所として手作業に力を入れているので自然とケアマネさんからの紹介も女性が多くなり現在に至っています。

7. 閉会の挨拶 管理者 松原和子

次回 H31年2月開催予定

以上